

東京大学大学院農学生命科学研究科

附属演習林 特任助教 公募

1	職名及び人数	特任助教（特定有期）	1 名
2	採用予定日	令和6年4月1日（予定）	
3	任期	令和7年3月31日まで 予算の状況、業務の必要性及び勤務成績の評価に基づき令和11年3月31日まで更新する可能性がある。その後も予算の状況により更新する場合があります。	
4	勤務地	東京都文京区弥生1-1-1 弥生キャンパス	
5	所属	大学院農学生命科学研究科 附属演習林 フォレストGX/DX協創センター	
6	業務内容	<p>フォレストGX/DX協創センター所属の教員として、既存教員と協力して産学官民マルチ・ステークホルダーの調整に取り組み、学内各部署・民間企業・地域社会・アジア拠点大学と連携した包括的研究体制の構築、部局間連携研究と連動した森林GX/DXに関するシステム開発、データベース構築、ネットワーク管理等の実務を担い、関連する教育研究に従事する。</p> <p>フォレストGX/DX協創センターは、国土の3分の2を占める森林を活用し、大規模・高精度の森林データの整備など、産学協創や地域社会との協創、部局間連携を通じて森林へのグリーン投資のプラットフォームを形成し、脱炭素社会の実現に向けた東大モデルを作ることをミッションとして2024年4月1日に新設を予定している。</p>	
7	就業時間	専門業務型裁量労働制（1日7時間45分働いたものとみなされます。）	
8	休日・休暇	土・日、祝日法に基づく休日、年末年始（12月29日～1月3日） 年次有給休暇、特別休暇、忌引休暇 等	
9	給与□	年俸制を適用し、業績・成果手当を含め、 月額 600,000 円～ 800,000 円	
10	諸手当	通勤手当（支給要件を満たした場合）	
11	社会保険等	文部科学省共済組合、雇用保険（法令の定めるところにより加入）	
12	応募資格□	<p>1) 博士号取得者（または採用日までに取得見込の者）または博士号取得者と同等の能力や経験があると認められる者</p> <p>2) 「6」に掲げる業務内容を積極的に担当可能な者。特に、データベース構築等のDX、ICT技術に優れている者が望ましい。</p>	
13	提出書類	<p>1) 履歴書（東京大学統一履歴書を以下のURLからダウンロードし作成すること。） <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/ia/about/jobs/r01.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/ia/about/jobs/r01.html</a></p> <p>2) 研究業績目録（学位論文、原著論文、著書、総説、その他） 3) 教育業績目録（担当講義・演習・実験等科目、非常勤講師、その他） 4) 社会貢献目録（委員会委員、学会役員、その他） 5) 競争的資金（研究費、助成金等）の獲得状況（過去10年以内） 6) 主要論文の別刷（3編程度） 7) データベース構築等のDX、ICT技術に関する特記事項 8) 森林GX/DXについての考え（1,000字程度） 9) 応募者の研究内容等について照会できる者2名の氏名、所属・職名、連絡先（住所、電話番号、e-mailアドレス）</p>	
14	応募締切	令和6年1月10日（水）必着 書類選考の上、候補者に対し2024年1月20日または21日に対面の面接を実施します。	
15	書類送付先及び問い合わせ先	〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 企画部 蔵治光一郎 TEL: 03-5841-8640 E-mail: kuraji_koichiro[at]uf.a.u-tokyo.ac.jp（[at]は@に置き換えてください） 封筒に「特任助教 応募書類在中」と朱書き、応募書類一式（紙）、およびそれをPDFファイルにして保存した記録媒体を、記録が残る方法で送付のこと。 海外からの応募の場合は、応募書類の電子媒体の送付も可とする。送付の前に、一度上記メールアドレスへ連絡し、具体的な送付手順を確認してから送付すること。	
16	特記事項	<p>1) 予算の都合上、今後、事業内容や実施時期等に変更があり得ることをご承知おきください。</p> <p>2) 試用期間あり（採用日から14日間）</p> <p>3) 附属演習林の概要に関する情報等は、下記のホームページを参照のこと <a href="http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/">http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/</a></p> <p>4) 本研究科では、業績（履歴、研究業績、教育業績、社会貢献、人物等）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用する。</p>	
17	募集者名称	国立大学法人東京大学	
18	その他	<p>応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。</p> <p>取得した個人情報、本人選考以外の目的には利用しません。</p> <p>東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。</p> <p>受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）</p> <p>外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。</p>	

# フォレストGX/DX協創センターの設置（予定）

## フォレストGX/DX協創：東大の森からの社会変革

国土の3分の2を占める森林を資源とし、大規模・高精度の森林データの活用など、**産学協創**や**地域社会との協創**によって**森林へのグリーン投資**を呼び込むプラットフォームを形成し、**脱炭素社会の実現に向けた東大モデル**をつくる。5年後に**アジアのフィールド拠点**の形成を目指す。

### 想定される本部・他部局との連携

本部GX推進課

工学系研究科

生産技術研究所

未来ビジョン  
研究センター

情報基盤センター

空間情報科学  
研究センター

医学系研究科

新領域創成  
科学研究科

東大演習林：全国7ヶ所、国土の1000分の1

### フォレストGX/DX協創センター（令和6年～）

- ・センター長：附属演習林長
- ・副センター長：特任教授または特任准教授【新規・女性限定】ほか
- ・特任助教【新規】 ・専任教員
- ・高度専門職人材【新規】

#### センターの機能

産学協創/社会協創/本部・部局間連携による  
森林へのグリーン投資のプラットフォーム（東大モデル）

#### Nature-based Solutions（自然を活用した解決策）

- ①大規模・高精度の森林データ整備
- ②森林炭素吸収量の精緻化
- ③炭素蓄積の技術開発
- ④フォレストGX/DXの人材育成
- ⑤カーボンニュートラル地域計画の策定支援

### 産学協創

民間企業との  
協定、共同研究

産学協創推進本  
部との連携

### 社会協創

自治体の脱炭素  
実現に向けた実  
施計画策定支援  
（協定の締結）

### フォレストDXの推進（令和3年～）

フィールドデータ研究センター（令和3年4月設置）

- ・100年を超える長期森林データの整備・公開
- ・アジアの拠点大学（7ヶ国）との長期森林観測の連携

附属演習林では、生物多様性に配慮した持続可能な先進的  
林業を実践

# フォレストGX/DX協創センター（予定）の機能

## フォレストGX：脱炭素社会の実現



## フォレストDX：森林情報の基盤整備

